

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、検査内容・項目コードの変更及び検査の受託中止をさせていただきますことになりましたのでご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白



検査内容の変更

依頼コードNo.	項目名
700→11569	抗利尿ホルモン(アルギニン・バゾプレッシン)(AVP, ADH)
3910	尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)
5671	高感度IL-1 β (高感度インターロイキン-1 β)
1151、3477	レニン活性
3397	ガバペンチン
4237	ラモトリギン
4238	レベチラセタム
4307	トピラマート

変更日 2016年9月26日(月)受付分より

検査の受託中止

依頼コードNo.	項目名
4721	MAST33
12213	EGFR 遺伝子変異解析/リアルタイムPCR法
451	総脂質(TL)
457	遊離脂肪酸(FFA)
455	エステル型コレステロール(E-Cho)
495	前立腺ACP(PAP; 前立腺酸ホスファターゼ)
2504	SCA7 脊髄小脳変性症(SCD)の遺伝子解析
2519	SCA8 脊髄小脳変性症(SCD)の遺伝子解析

最終受託日 2016年9月30日(金)受付分まで



検査内容の変更

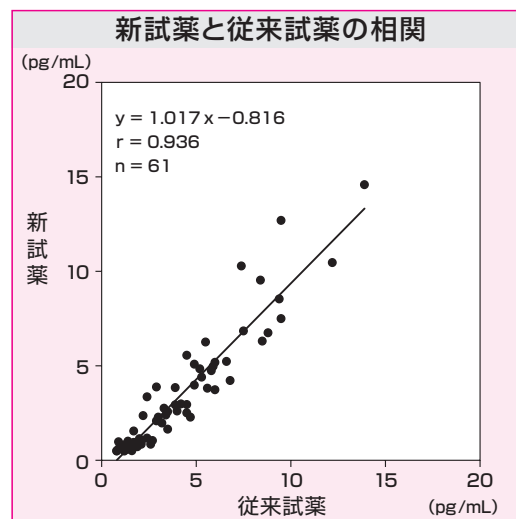
《変更日：2016年9月26日(月)受付分より変更》

● 抗利尿ホルモン(アルギニン・バソプレッシン)(AVP, ADH)

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有する試薬に変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、依頼コード、検体必要量、基準値、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	11569	700
検査項目名	抗利尿ホルモン(AVP, ADH)	同左
統一コード	4A070-0000-022-001	同左
検査材料	血漿	同左
検体必要量	1.5mL	2.5mL
容器	B-7⇒S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	4～7	同左
検査方法	RIA・2抗体法	同左
基準値	水制限：4.0pg/mL以下 自由飲水：2.8pg/mL以下	4.2pg/mL以下
報告単位	pg/mL	同左
報告範囲	0.4未満～最終値	0.8未満～最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	235点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左



自社検討資料

本検査の負荷コードは下記をご参照ください。

負荷コード								
前	15分	30分	60分	90分	120分	150分	180分	後
43291	43292	43293	43294	43295	43296	43297	43298	43300

【検査方法の参考文献】

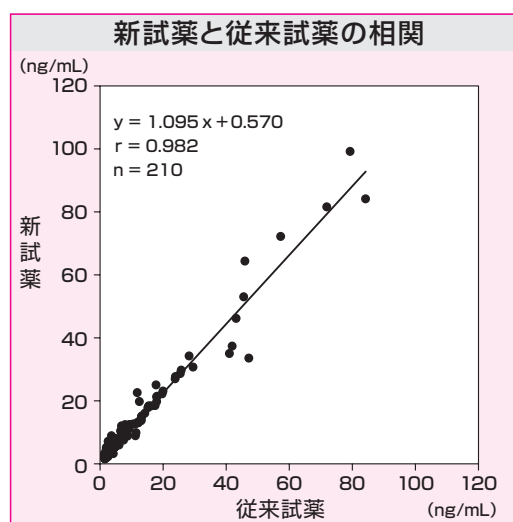
田中誠仁, 他: 医学と薬学 72, 1379-1388, 2015.

● 尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有する試薬に変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、所要日数、検査方法、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コード No.	3910(親) (子)3911 L-FABP濃度 (子)3912 クレアチニン補正值	同左
検査項目名	尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)	同左
統一コード	5C100-0000-001-062	5C100-0000-001-023
検査材料	尿	同左
検体必要量	2.0mL	同左
容器	U-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2~3	3~9
検査方法	ラテックス凝集法	EIA法
基準値	8.4以下($\mu\text{g/g}\cdot\text{Cre}$)	同左
報告単位	L-FABP濃度: ng/mL クレアチニン補正值: $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cre}$	同左
報告範囲	L-FABP濃度: 0.5未満~最終値 クレアチニン補正值: 0.1~最終値、換算不可	L-FABP濃度: 1.5未満~最終値 クレアチニン補正值: 0.1~最終値、換算不可
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	210点 / 34点(尿検査)	同左



自社検討資料

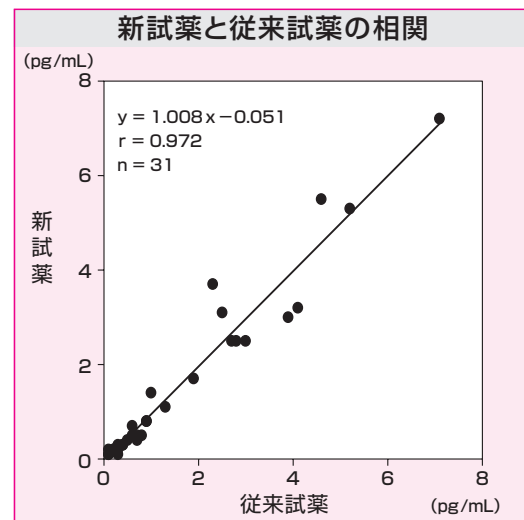
【検査方法の参考文献】

池森(上條)敦子, 他: 臨床科学 43, 20-24, 2014.

● 高感度IL-1β(高感度インターロイキン-1β)

従来試薬販売中止のため、同等の性能を有する同一メーカーの後継試薬に変更させていただきます。
この変更に伴い、検体必要量を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	5671	同左
検査項目名	高感度IL-1β(高感度インターロイキン-1β)	同左
統一コード	5J062-0000-023-023	同左
検査材料	血清、単独検体	同左
検体必要量	0.5mL	0.7mL
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	不定期	同左
検査方法	EIA法	同左
基準値	なし	同左
報告単位	pg/mL	同左
報告範囲	0.2未満～最終値	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	未記載	同左



自社検討資料

【検査方法の参考文献】

宮園 浩平：サイトカイン・増殖因子(改訂版)，14-15，1998。(羊土社)

● レニン活性

2016年版総合検査案内への新基準値記載に伴い、
報告書の基準値欄に「総合検査案内参照」と表記いたします。

	新	従来
依頼コードNo.	1151、3477	同左
検査項目名	レニン活性、レニン活性(負荷前)	同左
基準値 (報告書)	総合検査案内参照	記載なし
基準値・単位 (検査案内)	座位：0.2～3.9 臥位：0.2～2.3 立位：0.2～4.1 単位：ng/mL/hr	従来試薬の基準値

● PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比)

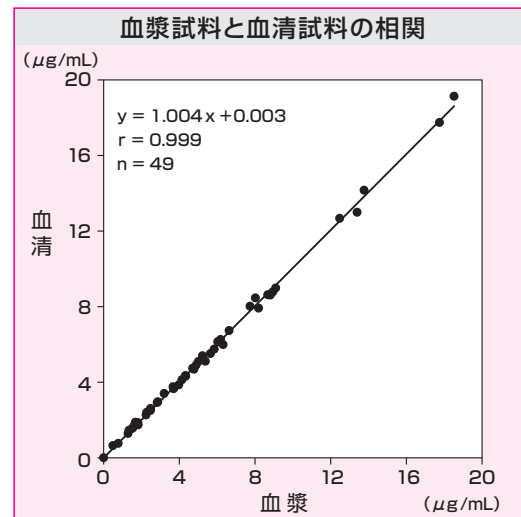
2016年版総合検査案内への新基準値記載に伴い、
報告書の基準値欄に「総合検査案内参照」と表記いたします。

	新	従来
依頼(報告)コードNo.	1153(親) (子)2681 PAC(アルドステロン) (子)2682 PRA(レニン活性) (子)2683 PAC/PRA(比)	同左
検査項目名	PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比)	同左
基準値 (報告書)	2681 PAC(アルドステロン) 総合検査案内参照 2682 PRA(レニン活性) 総合検査案内参照 2683 PAC/PRA(比) 記載なし	記載なし
基準値・単位 (検査案内)	2681 PAC(アルドステロン) 随時：35.7～240.0 臥位：29.9～158.8 立位：38.9～306.8 単位：pg/mL 2682 PRA(レニン活性) 座位：0.2～3.9 臥位：0.2～2.3 立位：0.2～4.1 単位：ng/mL/hr 2683 PAC/PRA(比) 記載なし 単位：なし	アルドステロン 同左 レニン活性 従来試薬の基準値 PAC / PRA 同左

● ガバペンチン

検査材料につきまして、従来の血漿に加えて血清での受託を開始することとなりました。
 この変更に伴い、報告書表示項目名を「血漿中ガバペンチン」から「ガバペンチン」に変更いたします。
 なお、血清でのご提出の際は、分離剤入りの採血管の使用は避けてください。測定値に影響を及ぼす場合がございます。
 また、同一患者様の薬物濃度管理に当たっては、同材料で継続してご提出頂く事を推奨いたします。

	新	従来
依頼コードNo.	3397	同左
検査項目名	ガバペンチン	同左
報告書表示項目名	ガバペンチン	血漿中ガバペンチン
統一コード	3L215-0000-022-210	同左
検査材料	血漿又は血清	血漿
検体必要量	0.3mL	同左
容器	血漿：B-6→S-1 又は 血清：B-3→S-1	B-6→S-1
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3～6	同左
検査方法	LC-MS/MS法	同左
報告単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.10未満～最終値	同左
報告桁数	小数第2位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料)	同左



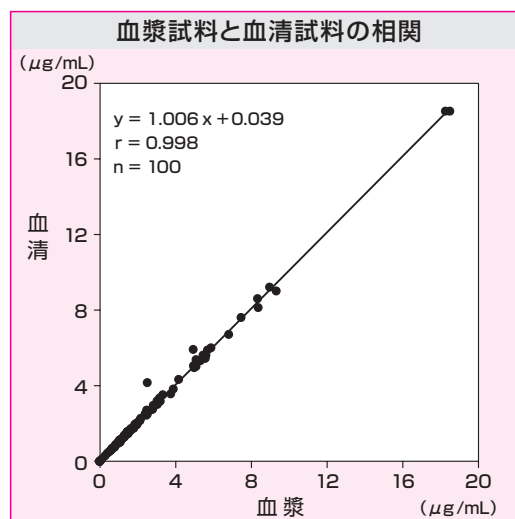
自社検討資料

● ラモトリギン

検査材料につきまして、従来の血漿に加えて血清での受託を開始することとなりました。この変更に伴い、報告書表示項目名を「血漿中ラモトリギン」から「ラモトリギン」に変更いたします。なお、血清でのご提出の際は、分離剤入りの採血管の使用は避けてください。測定値に影響を及ぼす場合がございます。

また、同一患者様の薬物濃度管理に当たっては、同材料で継続してご提出頂く事を推奨いたします。

	新	従来
依頼コードNo.	4237	同左
検査項目名	ラモトリギン	同左
報告書表示項目名	ラモトリギン	血漿中ラモトリギン
統一コード	3L220-0000-022-210	同左
検査材料	血漿又は血清	血漿
検体必要量	0.3mL	同左
容器	血漿：B-6→S-1 又は 血清：B-3→S-1	B-6→S-1
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3～6	同左
検査方法	LC-MS/MS法	同左
報告単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.10未満～最終値	同左
報告桁数	小数第2位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料)	同左



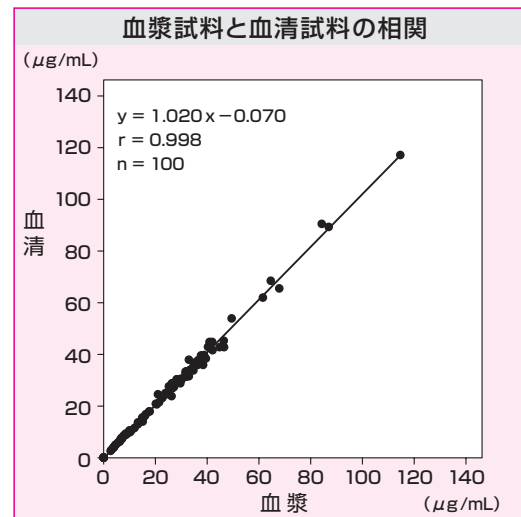
自社検討資料

● レベチラセタム

検査材料につきまして、従来の血漿に加えて血清での受託を開始することとなりました。
この変更に伴い、報告書表示項目名を「血漿中レベチラセタム」から「レベチラセタム」に変更いたします。
なお、血清でのご提出の際は、分離剤入りの採血管の使用は避けてください。測定値に影響を及ぼす場合がございます。

また、同一患者様の薬物濃度管理に当たっては、同材料で継続してご提出頂く事を推奨いたします。

	新	従来
依頼コードNo.	4238	同左
検査項目名	レベチラセタム	同左
報告書表示項目名	レベチラセタム	血漿中レベチラセタム
統一コード	3L230-0000-022-210	同左
検査材料	血漿又は血清	血漿
検体必要量	0.3mL	同左
容器	血漿：B-6→S-1 又は 血清：B-3→S-1	B-6→S-1
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3～5	同左
検査方法	LC-MS/MS法	同左
報告単位	μg/mL	同左
報告範囲	1.00未満～最終値	同左
報告桁数	小数第2位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料)	同左

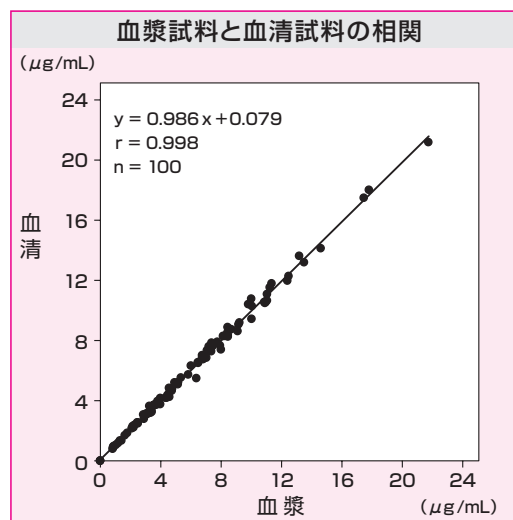


自社検討資料

● トピラマート

検査材料につきまして、従来の血漿に加えて血清での受託を開始することとなりました。
 この変更に伴い、報告書表示項目名を「血漿中トピラマート」から「トピラマート」に変更いたします。
 なお、血清でのご提出の際は、分離剤入りの採血管の使用は避けてください。測定値に影響を及ぼす場合がございます。
 また、同一患者様の薬物濃度管理に当たっては、同材料で継続してご提出頂く事を推奨いたします。

	新	従来
依頼コードNo.	4307	同左
検査項目名	トピラマート	同左
報告書表示項目名	トピラマート	血漿中トピラマート
統一コード	3L225-0000-022-210	同左
検査材料	血漿又は血清	血漿
検体必要量	0.3mL	同左
容器	血漿：B-6→S-1 又は 血清：B-3→S-1	B-6→S-1
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3～6	同左
検査方法	LC-MS/MS法	同左
報告単位	μg/mL	同左
報告範囲	0.10未満～最終値	同左
報告桁数	小数第2位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料)	同左



自社検討資料

検査の受託中止

《最終受託日：2016年9月30日(金)受付分まで》

下記項目につきまして測定試薬販売中止、項目の統合、保険点数削除、受託数僅少などの理由により検査受託を中止させていただきます。

ご愛用いただきました先生方にはご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

●代替項目あり

受託中止項目			代替項目	
依頼コードNo.	項目名	中止理由	依頼コードNo.	項目名
4721	MAST33	現行試薬販売中止予定のため	11458	MAST36 (別途、新規受託項目としてご案内いたします。)
12213	EGFR 遺伝子変異解析/リアルタイムPCR法	バージョンアップした項目への統合のため	11565	EGFR 遺伝子変異解析 v2.0

●代替項目なし

受託中止項目			関連項目	
依頼コードNo.	項目名	中止理由	依頼コードNo.	項目名
451	総脂質(TL)	保険点数削除のため		なし
457	遊離脂肪酸(FFA)			なし
455	エステル型コレステロール(E-Cho)			なし
495	前立腺ACP(PAP;前立腺酸ホスファターゼ)		4737	PSA (前立腺特異抗原)
2504	SCA7 脊髄小脳変性症(SCD)の遺伝子解析	受託数僅少のため		なし
2519	SCA8 脊髄小脳変性症(SCD)の遺伝子解析			なし